



第4回

動物園ランドスケープ会議

日時：2025年11月22日(土) 13:00-17:00

23日(日) 9:30-11:30 その後、園内見学

場所：宇部市ときわ動物園

主催：動物園ランドスケープ会議

共催：宇部市ときわ動物園

後援：(公社)日本動物園水族館協会、(公社)日本造園学会、
(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、日本展示学会、
ヒトと動物の関係学会



環境水族館アクアマリンふくしま



第4回動物園ランドスケープ会議開催プログラム

●11月22日(土)

- 12:55 開会挨拶 若生謙二
- 13:00 清田義昭(千葉市動物公園)
「日本庭園の作庭技術と動物園ランドスケープ」
- 13:30 若生謙二(大阪芸術大学)
「動物園ランドスケープと造園技法」
- 14:00 本田直也(本田ハビタットデザイン)
「動物園植栽デザインという分野を考える。」
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45 吉村光太郎(アクアマリンふくしま)
「生物多様性と自然教育を考慮したランドスケープの実例」
- 15:05 中川百合(乃村工芸社)
「千葉市動物公園の新動物科学館について」
- 15:25 本田直也(円山動物園客員研究員)
「オランウータン舎・ボルネオの森の屋内植栽デザインについて」
- 15:45 若生謙二(大阪芸術大学)
「大阪芸術大学動物ジオラマ館の制作について」
- 16:05 小山奈穂(MOLTON)
「ランドスケープ計画におけるアニマルウェルフェアの視点」
- 16:25 木村嘉孝(ときわ動物園)
「来園者アンケートから見る生息環境展示の印象について」
- 16:45 椎木絢菜(岡三リビング)
「動物園ランドスケープにおけるモルタル造形の技法について」
- 17:05 閉会挨拶 山下博史
情報交換会 COCOLAND宇部

●11月23日(日)

- 9:30-11:30 討論会 テーマ「動物園における植栽を考える」
- 11:45- ときわ動物園見学会



動物園ランドスケープ会議 設立趣意書

動物園は来園者が学び、憩う場であると共に、動物が快適に暮らし得る場でなければならず、人間と動物の双方にとって快適な環境をつくりだす必要がある。そのために植物は大きな役割を担っている。多くの野生動物は自然界では植物とともに暮らしており、植物なしに野生動物が生息することはできない。限られた敷地では植物との共存は困難であるといわれてきたが、近年、これを克服する技が生みだされるようになり、世界では動物園の展示に植物、土、水辺等の自然環境をとり入れることが主流になりつつある。

動物が暮す生息地の環境に近づけることは、動物にとっての快適な暮らしをもたらすだけでなく、観覧者にとってもいきいきとした動物の生活とその環境を知るために必要な取り組みである。また、樹木は緑陰を提供するなど、動物と観客の双方にとっての快適性をもたらす。動物園はまた、都市の中の貴重な緑地であり、植物が生育していることは、都市の環境としても求められることである。植物は来園者の心に響く美しい展示をつくりだす下支えとなる。

動物園ランドスケープ会議は、動物園にこのような環境をつくりだすことをめざす集いである。動物園に緑、土、水辺をとり入れるための研鑽を行い、国内外の情報を共有し、その成果を広く世界に発信し、動物園を通じた自然との共生社会の実現に寄与することをめざしたい。関心のある方々の参加をお願いします。



参加料 3500 円（会誌「動物園ランドスケープ」3 号、発表要旨集を含む）

申込方法 QRコードからお申し込みください。定員に達し次第締め切ります。

お問い合わせ zoo.landscape.jpn@gmail.com